



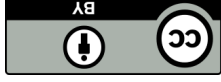
Storybooks Canada

storybookscanada.ca

お仕置き

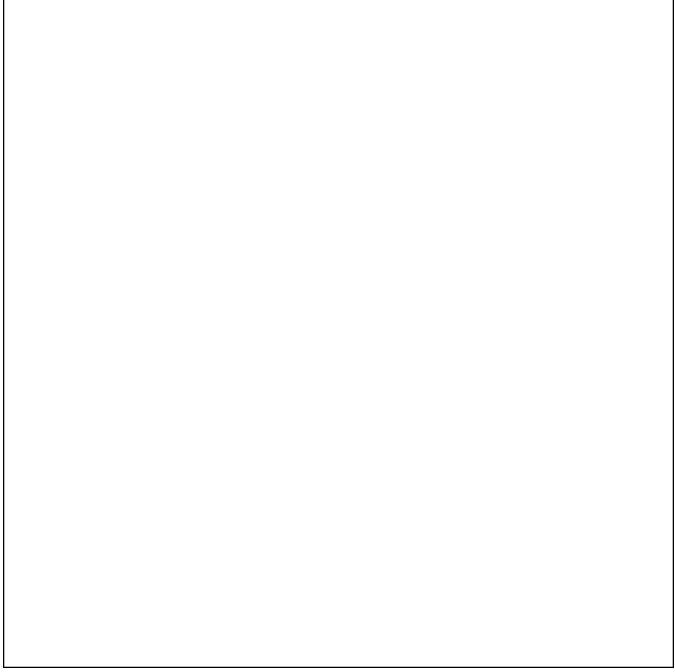
Written by: Adelheid Marie Bwire
Illustrated by: Melany Pieterse
Translated by: Noriko Shibata

This story originates from the African Storybook (africanstorybook.org) and is brought to you by Storybooks Canada in an effort to provide children's stories in Canada's many languages.



This work is licensed under a Creative Commons [Attribution 3.0 International License](https://creativecommons.org/licenses/by/3.0).
<https://creativecommons.org/licenses/by/3.0>

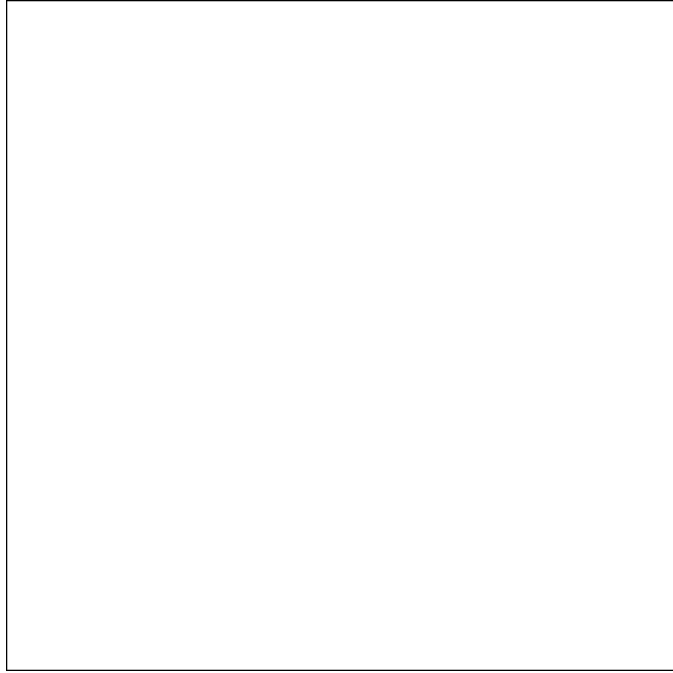
お仕置き



✎ Adelheid Marie Bwire
👤 Melany Pieterse
📄 Noriko Shibata
🗣️ Japanese
📖 Level 2

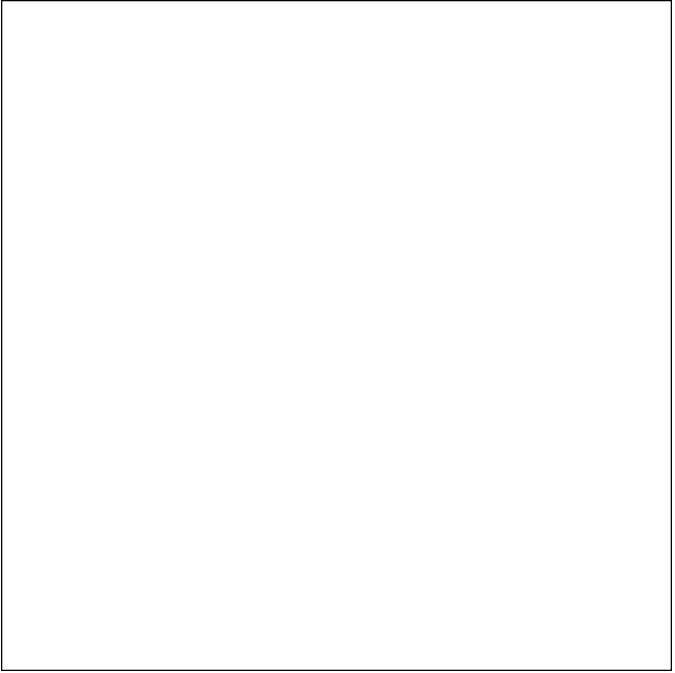
(imageless edition)

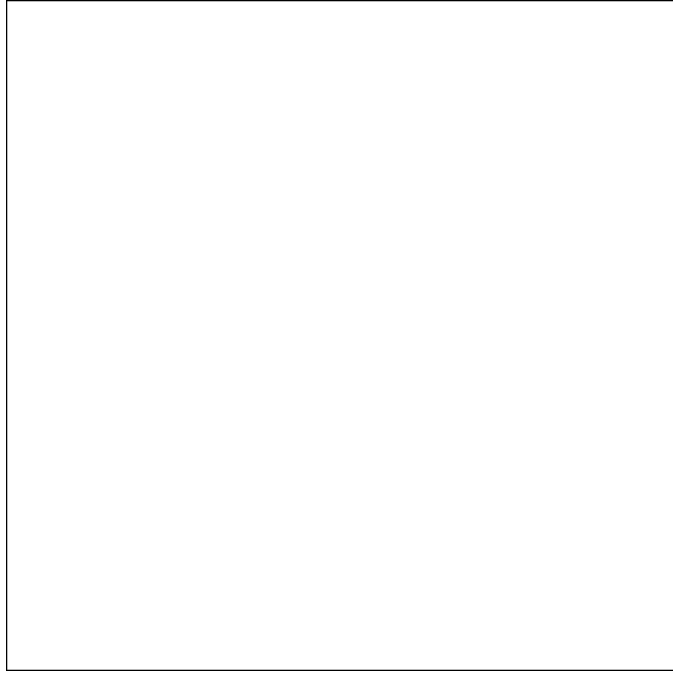




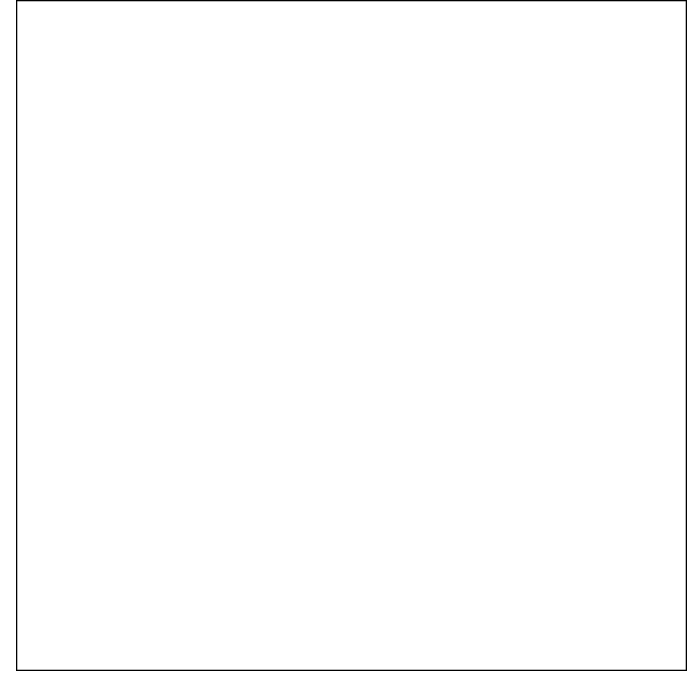
ある日、お母さんは、果物をたくさん
手に入れました。

「私たち、いつ果物を食べられるの？」と尋ねると、お母さんは「今夜にでも食べましょう」と言いました。



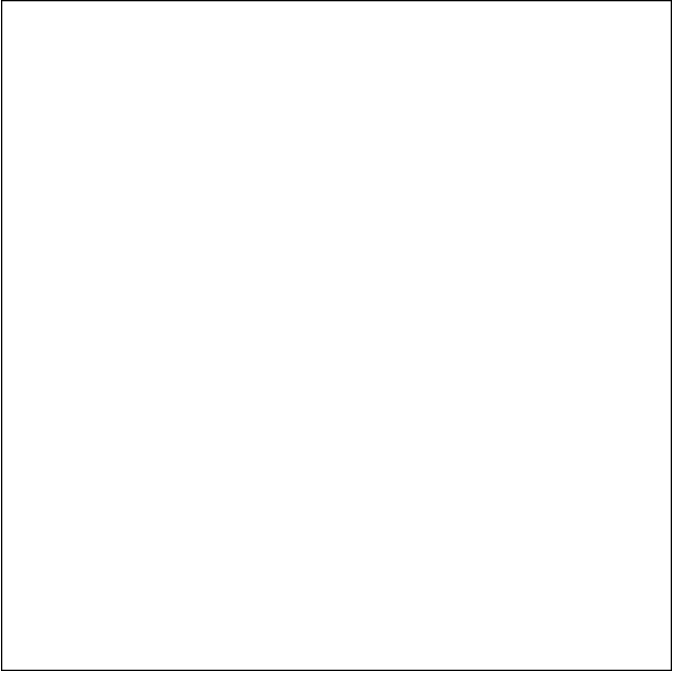


お兄ちゃんのラヒームは、食いしんぼう。全ての果物を味見して、たくさん食べてしまいます。

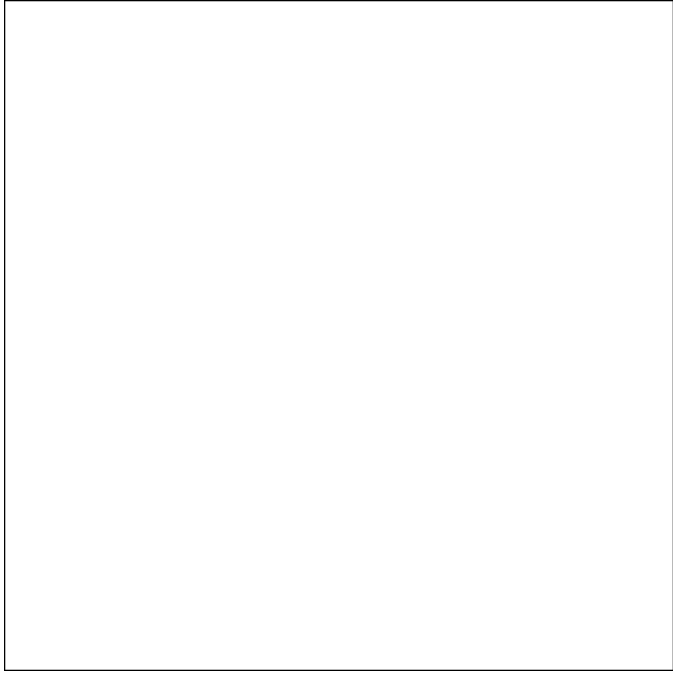


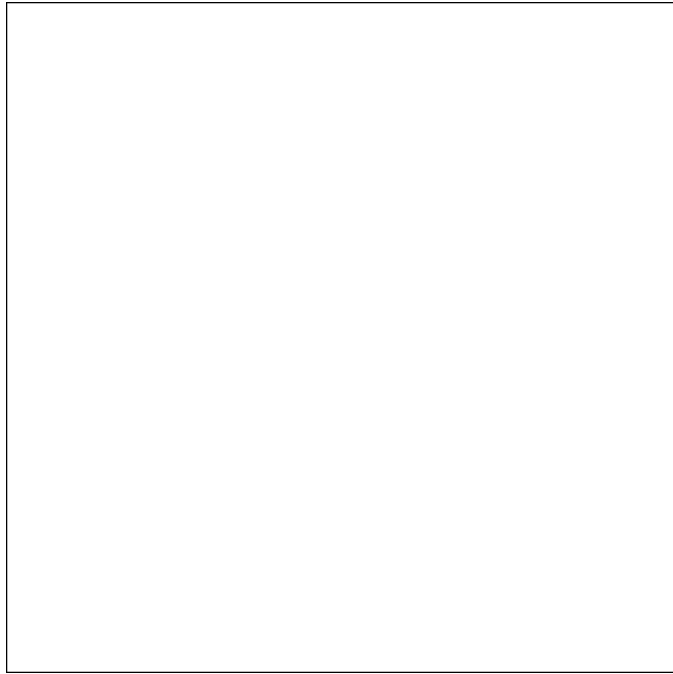
その後、ラヒームはみんなに謝りました。「僕はもう二度と欲張ったりしないよ」と約束し、みんなもラヒームを信じることにしました。

「ほら見て、ラビームったら！」弟が
叫んでいます。「ラビームはお行儀が
悪くて、わがままなのよ」と私は言い
ました。

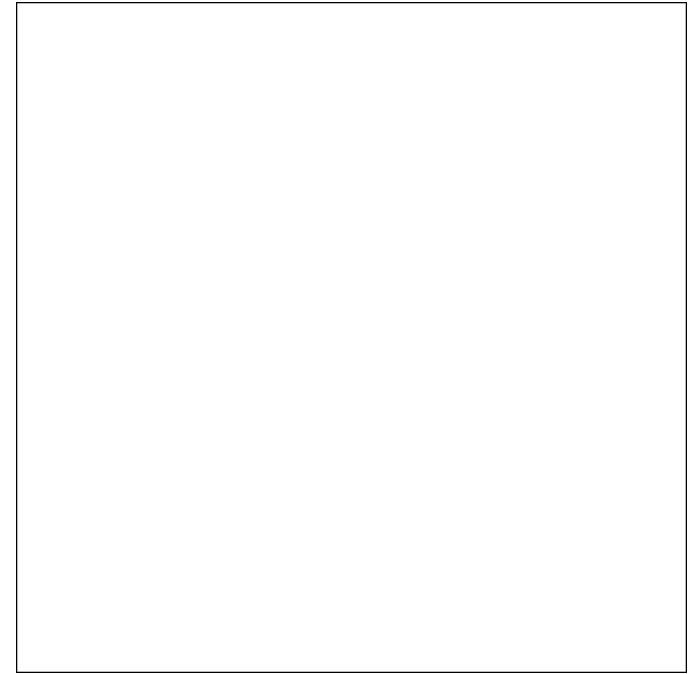


お母さんは、こうなることかわかつて
いました。果物は、ラビームにお仕置
きをしているのです！



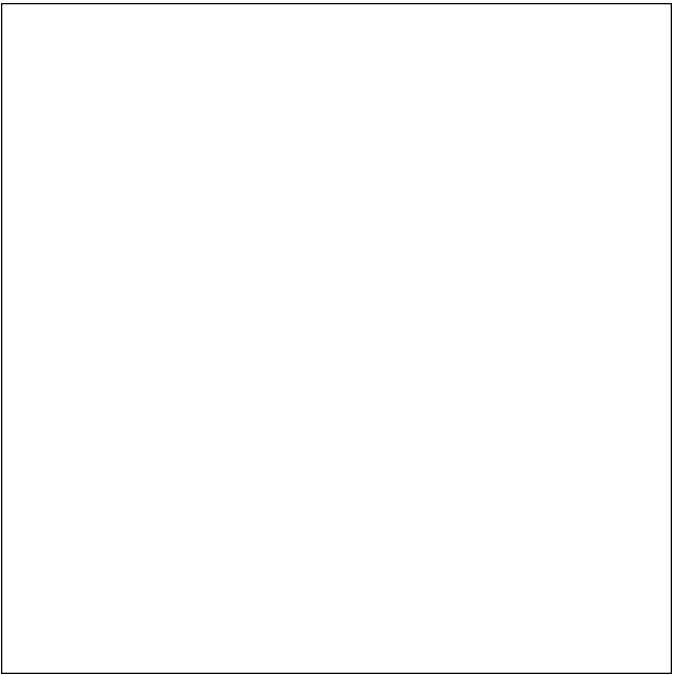


お母さんは、ラヒームのことを怒っています。

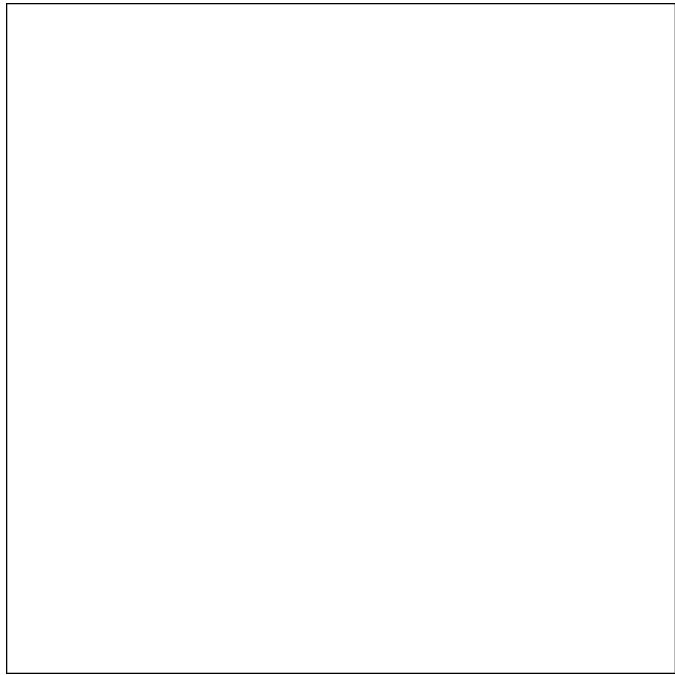


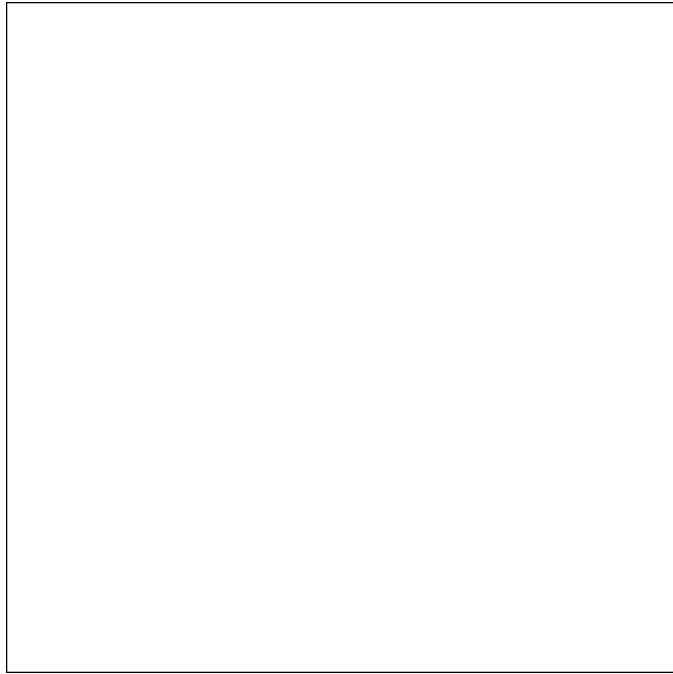
「おなかがとても痛いよ」と小さな声でささやきました。

私たちもラレームに腹を立てています。でも、ラレームは自分のしたこと
を悪いと思っと思っています。

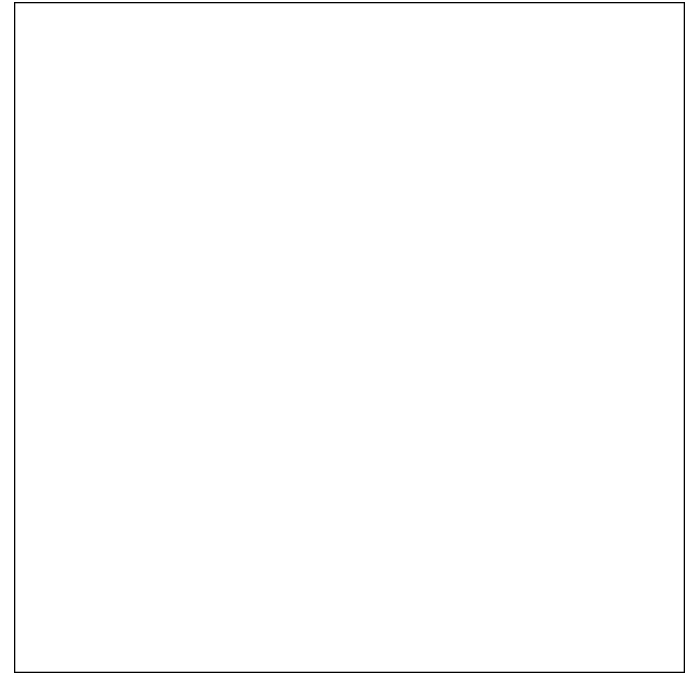


ラレームは、気持ちが悪くなり始めます。





「ラヒームにお仕置きをしないの？」
弟は、お母さんに尋ねました。



「ラヒーム、もうすぐ自分のしたことを後悔するわよ」とお母さんは、言い聞かせました。